資極的な思度であつた。試験や管

題に追われつつ、毎日おそくまで

んだ。陽鹿げているからやらない

考えればそれでよいんだ。

説刺たる生気と、止むにやまれぬ

である。

洛昌の生徒の欠点がことにある

いか。たとえ失敗したつて大した

ような小紳士や、無関心や、又は 女々しい反抗は御免とうむりたい

は驀場にひとしい。型にはまつた

ところ、間窓のないところ、それ

はならない。やむにやまれい間言

生気のないところ、反挽のない

始めてその結果がわかろうではな てみようではないか。やつてみて ではないか。何でもよいからやつ

ことではない。その時に善後策を

大な努力もざることながら、企校

はならいのは、流喘を目睹者の絶・見えたかも知れない。しかしその

生促各自のこの行事に排げられた

くよく考えてみる必要がある。 結果が成功をもたらしたことをよ 終つた。挙げてみれば、それは競

金くこれまでに例を見ない程な熱 準備、展覧会の構想など、それは

はないか。

をするんだ。何もしようがないで

からやらない。だとしたら一体何

けちくさい。この世の中にそんな

からいやだなどと考えるのが大体

闘を健全にする。

失敗するからいやだ、撮をする
反抗と、秩序ある闘歌とはこの学

にどこにでも成功や得がころがつ

ある。いざという場合には何の役

表面だけの極重ごとでは駄目で

叱られるからやらない。損だ

らやらない。笑われるからやらな

の入れ方であつた。仮後行列のミ

いか。失敗してもよいではないか

少々問題げていてもよいではな

考えが甘すざる。何でもよいから

ているなどと思うのが間違いだ。

にも立たない。

やつてみるんだ。全力をつくして

でには、名匠によつて日夜絶えざ

一ふりの名刀が世に出現するま

配念無は終つた。成功のうちに

主張

鬪

志

つかの小さい失敗はあつたろう。

しろ当然だ。それで好いんだ。 かし経験は少いんだ。それはむ

とらして頭を使つたりなどして、

てもよいではないか。叱られても

なおかつ、倒れたとしてもそれで

本望だとするのが真正の男子であ

うに、われわれの顆神は、もつ上

もつと苦悩しなければならない。

コシを作るのにいろいろと啓題を負けてもよいではないか。笑われ

の第一に考えられね

よそ目からみれば、少々馬鹿げてよいではないか。損をしてもよい

200

浴

の自治活動への熱心さと努力の結

霊を計画し、実行し得たのは彼等

行し、その結果あれだけの記念

品であると確信し敬意を表します

にならずに我々の問題は我々の手

で解決することです。

まず手始めとして既に気付いて

で同長に任命され、生紀会活動の

いくらかの同意はありましたが

兄ました。

との間、前期鎌田委員長統率の

につくすことを誓います。

に恋信勝岩はこの新しい任務を

を抱き発足して、ここに呼ばを助

高校の生徒会が四月大舎な新望

我

R

0

題

は

THE REAL PROPERTY.

星新聞編集局 TEL@2334

## 京都市北区小松原南町

我が学閥に新鮮なニユー 新聞

校執行委員長に高橋君 昭和三十一年度後期、中・高等学校生証金の新委員がこのほど決定した。高等学校執行委員長に スを送る新聞部へ諸君集 れ!任務重きこの仕事を しようと思うものよ来た

予標通りの結果が出た。との一年にうんと伸びはじめた生徒会活動が後期空間の手によつてどこま は無職等で高橋料が就任した他 で発展するか、合後を期待したいものである。 中学校中央委員長には協行者が明当に思えひろつて当選する等、

高等学校中央委員会役員は次のと 高等学校)

中央委員会委員長 奥野 幸男 (一A)

> 同 害 副委員長 杉本 泰雄 (IIC) 記

> > 操時の整列・静宙を徹底的に、自

ス

いるでしようが、朝礼時・中間体

信 任

分類の義務として、守つていただ

堀 害 58 和失 (二四)

同

大原職一郎 (一〇)

きたいのです。

K

0

高橋委員長



中

握手する高橋(右)・鎌田 (左) 新旧執行委員長

問問 间 執行委員会委員長 中央委員会委員長 **器 积** 副委員長

同同 問 審告 即委回長 記 邑 建 進 勲 章 章 章 各 各 各

ス トを盡す 葛谷委員長

る。死ぬまでそれをつづけるとと そのためには先す、失敗を恐れて 物事に正面からぶつかることであ る鍛練が加えられねばならないよ に燃えて、若い金身をひつさげて れたわけだが、何分はじめてのも のだから、とんでもない失敗をし 今度、中学校中央委員長に選ば

事務引継ぎを終えて です。

中学校生征会役員は次のとおり 記記・ 水斑田 水斑田 時前谷 気谷 学 裕二 (三A) 英嗣 (三B) 戦 (三A) 校 す事を約束する。どうか諸君も大 60 い。厳若のための生徒会なのだか ベストをつくしてこの任務をはた かし僕は中央委員長として今週のわない事が多分にあると思う。し 例の経験を充分に生かし、そして いに生徒会の為に協力をしてほし

最善の努力を 伊ヶ崎委員長



於て搾倒しでも暗馬戟でも、勝手 るものとなるのである。延勘会に 生のよき訓導を身につけて一人一 が一つとなつて、校長先生や諸先 静部、整理、整個の下で生徒全体 人が築き上げて初めて世に語り得 険しい風景ではない。良き校園は しい学校の研物や高聞をとりまく 最も母音校鼠を作るものは、美

洛皇帝問編集局」と名前を変えました。御了承下さい。

いう話も聞く。相談室が生まれた

ともつと利用して低しい。相談係 た人は五人ぐらいであるからもつ に相談できる。今までに相談に来

と四日以内にはその先生と気軽る

から大いに利用されたい。 事は本校の発展と共に役立つ事だ

洛星新聞編集局

方や学校に関して承諾していただ一川・林・鎌田、高一=白田・金中 てゆき、そして我々の希望を 又、<br />
諸岩の希望によって<br />
種々な 高二=西·佐竹·景島·三好·安 一以上九名一 次の六つの係を設け、各会員の一二年の人との接触も少ないので、 力するとと。これが大切です。 任務につくのは初めてですし、又一 何しろ自分はこのような重要な

部員募集

く努力をおしみません。

将 (三年) ・漫画・三字 あつたら短順なしに言つて下さい ましたので、当然生徒会活動が地

主な行事は前提に殆んど行われ

学 校

思によつて、それを検討していま

行事を実施したいと思います。今

担当責任を明らかにしました。

〇目治静宙实行系

西答林

ると思われますので、もし交句が いろいろな。面で不満な点が出てく

て、初めて栄発を勝ち得るもので つて、最初の努力をする事によつ

います。

ある。私は諸君の指導者ではない

行

委員

會

か。 3

要望

自が全力をあげて一つの目的に向 のでは決してものにならない。各

諸岩各自が建

クラス対抗ベースボール大会の活

〇企園宣伝伝 所・目・ 金中(二年)

墨生活を有意義に明るく送れる建 辺します。そして一致団結して浴

つでも聞かせて下さい。大いに統

行望や助言、<br />
又忠告があればい

股的な計画をたて実行しましょう

諸君の支持と協力をお願いしま

次に執行委員名を発表します。

豊島・安川 三好・命中

〇体育部係 〇ワンダーフオーゲル係 O交化部係

味になることが考えられますが、

自分端の欠点は自主的に改善し一たからというわけでもないですが一せんが、会別组に替われているよ 前期の否員長が一年の人であつ一てはいけないという規則は有りま 為には全校生徒が一丸となつて協一るようベストを戻して頑張ります らに生徒会活動をより円滑にする ケ

奥野委員長 色をより完全なものに育てて行き 其処にまたやり印要を感じるので 洛島高校。その洛星のみが持つ特 す。あらゆる面で成長しつつある

一、中間体操、及び昼の休みには

調書以外の生徒は数算に残ない

朝校当初から予

。定されていた二つ の前面から北は裏の 归まで、高さ

予 定 ・数室の際側に立つて外を眺め

ないこと。

すみしだい立ち去ること。

、手洗場ではふざけないで用の

日を笑顔で以て迎えることが出来 個任に答えるべく、又任期温了の ともかく選ばれた以上は踏岩の

うとと。

学校内の諸道具を丁寧に取扱

でかしたり、又勝宅の期待にそぐ 委員 長 一、各自一つずつ雑巾を持つてく るといる。 で着用しないとと。 体操眼など他人のものを無断 ことになりました。 を発行日として、諸君の手元にお 今月号から本紙を月刊紙とし、

執

認してきたところでありますが、予算の増加と郊員の光実にと もない、いよいよ実行のはとびになつたわけであります。これ を機会に本紙に対する諸沿の積極的な協力を期待すると共に各 定期的に新聞を執行することは本紙創刊以来われわれが強く希

## 洛星新

写真部との提携を強化し紙面を変化に営んだものにするほか、

また本紙がこの歴脱皮への第一歩をふみ出すにあたり、特に

写真部とも提携 紙面さらに充実

諸鬼の前に自信を持つて帝妻すると共に、あわ はなれたものですが、号を迫つて統直を充実させてゆくことを しい企画も実行にうつしました。本号はまだまだ理想にはかけ 内容の充実にそなえて「洛星の精神を育くむもの」その他の新 の強い声振をお願いする次第であります。 なお中学校生従会の決勝にしたがつて「洛島新聞編集部」を でで勝岩の本紙 が出来てから悩み事が生まれたと

悩み引受けます

我々にとつて欠くべからざる事だ の場合とあわせて考えていく事は るものだ。それを先生と生徒が話 また数力所に相談籍が置かれてい のだ。経験者から語を聞き、自分 れている。中高生ともなればいろ である。第二応接室を相談案とし いろの悩みが泉の如く湧き出てく て領週火幅日放課後六時まで開か 生れた事は誘営のよく知るところ し合つて解決していこうというも 十一月六日より本校に相談室が

よりよい努力が必ず良き総風を完 全なものに作り上げる事を信じて 客である。勝君の 近く狂雷部発足?

本校の生徒は風流な男ばかりであ 今のところ何らの動きもないが、 わい聞いでいるうちに終つたが、 が出来たらという声を聞いている 中学三年生の狂言がもとで狂言部 記念祭の強調コンクールはわい

諸君に要節している。 では、次のことを生徒 中学校新執行委員会一、食事の始めと終りには歌想す 一、校会内に於て何 一、数塞の掃除の時、机は必ず二 めとしる。 らのが誰もの考えだからかも知れ 我国の古典を愛しましよう」とい る。脳曲部あれば尺八部あり、「

一、週番は敏密に於ける静崩に全 責任を持つこと。 人で選ぶとと。

で出張したとかのことである。

、原下は走らず階段の昇り降り 机でも何時でも静陰を守ること

はあわてないこと。

明春 月館に着

東西は阿校舎の間隔、南北は校舎 事で、玄関、体管館、そして両数 て完全なものが建設されることが 十二月初旬から四ヶ月間の突貫工」なお講覧はいろんな角度から言つ 館から着工されることになつた。一されている。 の校舎の間の建築工事は漸く体育」は門校舎との均衡を考慮して設計 にはロツカー室が予定されている 渡しする 月二十日 の関連ができ次第第工される。 望ましいので娯意研究中で、資金 て使用されるはずである。 ステージが作られて、反議館とし それまでは新設の体育館に簡単な

相談室設置

手の佐生を明記の上、入れておく るが、これは自分の相談したい相

[3]

一石庭

下して静かに底を見入つていた。

これが枯山水(水を用いず地形

苑 〔龍安寺〕 の日曜日に一一西西源院から移建されたという方一として大徳寺大仙院の底と並び称 人暗安特老碉 **曇り日の秋** | さて寺は玄関付の方丈建築で岩 | によつて山水を現わす底) の名[6] 未完の傑作

丈の中に入つて左に折れると庭に

敗いてある自砂が目を貼る、そこ

る。

広がり中に浮島が二つばかり木に 寺だなあという感が深い。この池 つている姿は何か神秘的で禅宗の うだ。そして池のまわりには鮮か いて龍安寺の名物として有名だつ 云い間は多くのオシドリが得れて に遡々と水をたたえた池が枝万に は恩原時代の物だそうだ。 たが統当に際いて近年は来ないそ うもれている、俗にオシドリ池と に紅斑した木々や松の緑等水に映 山の揺に近い表門を入ると左

の広い境内一帯を含む庭園は凡て 足利管偏細川砂元が設り受け続天 和尚を招請して建立し三十七町扱 し語ると宝徳二年徳大寺の別荘を 相阿弥の設計といわれていて臨済 ここで顔安寺の歴史について少

宗妙心寺派十組の一つである。





見えるから虎の子波 の語々を象徴するも わしているという事 れが心という学を現 子を率いて渡る如く

聞 新

にははや十人余りの客が縁に腰を一五二三二三の七五三組で配石さ

めぐりの杉苔一面に その日節の上の規則 敷きつめられた白砂 れた十五の石と石の まれている。 つて黙ぶちの様に囲 やや文低に油揚によ 正しい線、それ等は この配石は大海中

では又菜週刊誌にと一る前の凡夫も帰りには仏性を得て が計画となった。 一している。云々」 に浴する禅の極致をそのまま表現 の邪気邪念を浄化され石匠に接す の静寂和帝の霊気に打たれて自己 の油土場とよく闘和し宇宙天地の 人間原ち(小戦)はこの(大戦) (大我)を顕現、石匠に対面する

WARE THE COUNTY OF THE WAS A COUNTY OF THE WAS THE WAS THE TRACTURE TO BE THE WAS THE TRACTURE TO BE THE WAS THE TRACTURE TO BE THE WAS THE WA もの 知つても皆が一緒に<br />
間じ気持になって、<br />
手を出さず、<br />
協力をしなく くようなことをやる。良い事とはて、自分の性格に合わぬからとい つた人間の製造所。といつた人が 洛星を呼して『同じ締に、はま

しないのは、当り前だし、それはいうものです。 無理に 戏を 限つ 仲良く力を合わせよう

No. 1 8

学校つてものが団体生活の場で

半減してしまうでしよう。 ての傑等の毎日の生活の価値は、

学校がどういうものかと決める

記念祭も所みました。 しばらく けない者があつたら、 単に不愉快

1

って協力しようとはしない。人のていいのでしようか。そうは思わ

ん。他の人の気持とまつたく一致

めて学校生活の楽しさがわかると

というだけでなく、団体生活とし

す。結論からいつて、今の僕等の 切なものが忘れられているようで ことだけれども、それに一番大 あるというのは誰でも知つている

学校生活に最も必要なもの、それ は協力ということだと思います。 る事をやつている時、仲間の一

ではないということです。このこ

ないのは、それがただの人の集り のは勝手だが、一つ間違つてなら

とはわかつているようで、本当は

一番わかつていない。しかも学年

人でもそつはを同いていると、不が上になればなるほど、わかつて

快になるのと同じように、学校

いない。一つの専を皆でやろうと

制をとついて容易オヤカマ録もあ

るのだと考えます。

いうことではありません。上

自分というものを他から意識するて、協力をしない等の必要はあり 一人で物思いにふけつている学者 当然の結果でしよう。空を眺めて 同じ事を考え、同じ事をやつてる うちにこそ、全体の内の自分本よ ないはずです。洛里にいるという ません。むしろ、同じ事を学び、 高 ているはずです。何といわれたつ て洛里は洛里なのです。洛昆は他 の学校の採造品でも、類似品でもというものです。それが実際に何

原草な美術器、何々全集、シリー ズもの、色とりどりに帯店にとこ ろう。 何種類もの文庫新鬱版から 何々集のたぐいた。 借出しの統計 となつてでてくる。 苦しい事はし ていることは、これまでなかつた。せていれば、何々大衡、目で見る 現在ほど沢山の本が街にあふれい。二、三かたまつて、椅子を寄それが最小の労力で、最大の効果 のが圧倒的に多い。そこには草な を見ても、文庫もの、シリーズもたくない。無駄なことはしたくな

々は一体どういう具合に、それら ろせましと並べられているが、我 味しかな る張麗しのぎとか、一寸とした與と思う。昔の中学生や高校生と比

校写真部

撮 君

本を見ればどんなにして読んだら いるのだろう。読書の秋ーーと一 山穏の中から。選びだして読んで 口にいうけれど、こんなに沢山の いように 何かを考 見える えるー 1

異は 木 原

いいのだろうと迷わざるをえな

じつくり

最近どこの学校図書館でも、一

とする努

考えよう

老

せられる石匠で世界的に有名であってはないか。静かに部厚い態物 対する或る種の傾向を示している のだとは、この頃の生徒の院割に 容能まれているのは、朝日カメラ や予覧の下間べと見れば間違いなとあきらめて、他のことをする。 とか何々カメラというグラビヤも を見てノートをしていれば試験 の点で見られる。問題を見て、思 ているのではないかと含えいい えようとすることを避けようとし いつきで判断したり、すぐ駄目だ たくなる。そうした態度が、凡て 力が別られないのだ。むしろ、考 

和な島々が一連の雲峰として正面 限の数化を与えている。広大な大 想は只石と砂だけを以て端的に神 されていた。「偉大なる作者の思 と云う事を大体次の如く貼紙に示 海原に点在するうつそうと繋る平一 の信道を如実に表現し見る人に無 この増地は節ち弾の極致である一 と語しているのを聞いて金種の瑕 は「この前に二時間密める事には はるか彼方にありそうだという結 らしい、結局禅とは自分の理解の たが未熟者にはどうも反応がない て緑側に腰を下ろして底をながめ 人でなければならないなあと病態 この庭は判りません。」と隣の人 論を得た、後に居た学者らしい人 なる程むつかしいものだと思つ

一個々落々として歌喜する解説の境一あり清い彫刻であり清い哲学であ り消い絵であり濃い建築であり消 曹いてあるので ここに 示すと 一五 百年の動と五百年に遡る清い時で ここで頭つた絵郷糖に名文句が

い音楽であり清い宗殿でありま一泉・後三条・一条・堀川の平安期 ゆかしいものである。 方丈を出て辺りの後朱雀・後冷

気持は様々だと言うかも知れませない。嫌な事でも皆でやつて、初だから(?)、他の学校から見る いました。なるほど、眼姿が同じ 僕等の学校は僕等が一番良く知つ と、そうかも別れません。しかし といるのは『同じ知』にはまつた 勝ろ一人々々の持つている小さな たからです。 人間になるためではありません。 **微等が一体になつて協力をする** 

く知り、自分の個性を植め伸し得ことは、他の学校にいても良いといっても今の優等には役に立ちま ばなりません。それが洛星の精神 であるかということは、どうこうの、物でかついでいこう。 で相通じるものをもつていなけれ 分本もつた箱になる事です。洛星 じ』でなくて一ケ所だけ共通の部 せん。狭していけません。 箱を破り得るものだと思います。 に六ケ年もいたのなら他がどこか 『同じ箱』になることはいけま 同 の内にあるのです。その二字の内 ことの出来る近道!、それが協力 が生まれ、団体生活における自分 から、他の人を助け愛する隣人愛

本あげようという虫のいい考え方 いるのだとしたら誠に歌惨の限り

いという考え方のあらわれなのだ なりたくないのだ。嬰鉛は様くて 妙に物なれた態度の小さな紳士に

つくり考えよう

較して、いう残りはないが、今の 図書館主任 たい。そして中学生らしい又高校 淑

ことが出来るということから、考 正の交談作品を読むのもよし、手 ならないものだと思う。 会りにも惜しんでいる。最近のよ 疑問や、社会の思想の問題をとり うにラジオ、テレビというような 生健は、読み考えるという努力を 道で手軽く耳から、目から楽しむ マス・コミユニイケイションの発 あげてゆくべきだと思う。 生らしく一つ一つ人生についての

す。 厳してむしろ近代的であり前衛的 宮の様な地底廻遊式の庭園等と比 思われる。 抽象絵画に似道ら所があるように 兎に角この底を見ていると 住産

ている。この水苔のおおりた手水 五臣矢理』(我ただ足るを知る) ばいと呼ぶ名物の手先跳があり円。等学校及び間崎パレーコートにお 一般化して漫画等の窓匠に使われ い石の真中の口を四学にかけてル | 禁は如何にも当時来個ぶに足る奥一さめた。
| 陸上部において個勝した と示されている。又この学は最近 石底の意にある茶室の前につく 選手の記録は次の通り。 場八チーム中、第三位の応減をお またバレーボール部も遊戦して出

党市路 山田廣心 (高校の部)

のは、僕等が選び、そして環ばれ
所に飾つてはならないのです。そ
「尾の両君が出場
熱弁したが、高 を自分の物にして育て上げていく 身につけることです。洛鼠の精神 とる物です。つかみとることが第 れば僕等が、一人々々が、つかみ

協力。これが高星の精神を寄むも ゆこう 誰かがひつくりかえつた 館する時に 一枚ずつとり、その日 うことです。 先生も生祝も一線に 道に前がつき出ていたら僧で引き 同や組んで、同じ方向を歩こう。 一個としての価値を知るのです。 仲よく力をあわせてやろうとい でいるかという事を関べたいと思 います。それで十二月三日から八

せん。洛星の精神は手のとどかぬ のと考えるのです。

えるのは面倒くさいなどと思って 近なところでは京都の庭の梁内書 残々は話の泉式の知識をもつた こう。一つの現在の問題に或る種 を読むのもよかろう。ただ雑誌は かりは一寸この際議職していただ

あるれ 岩さに 地味に の目安は与えてくれるだろうが、 読んで考える※口を見つけて歌し を引きしめて、まとまつたものを ない。現に角、この秋は一つの心 しよせん雑誌は雑誌であるにすぎ

事で何か不満

た。不満なしと なく、殆んどが

くり寄 でじつ た間志 いものだ。 「僕が就要に求める程、僕の求」りようなことを云つた。中には尤

古典を読むのもよし、外国の小とのような気持こを繋いものだと えて見 どうしてつかむことができよう。 た壁の中で僕は飛躍しようともが なくなる。何もわからないものを て自分の歩いている前すらわから 不安の中で、焦燥の中で、そうし めるものがわからなくなる。そし く」(「或る遺年の日記」から)

> かなりいるよう しないでいる。

説を幾つか説むのもよし、明治大 思う。そして又大切にしなければ 

機はそれらの

登ると樹々の隠左下方に本校の建 関の後の縁の寄もかぐわしい山に の六代の天皇の御霊观の安徽せる 物が白く光つて見えていた。

京都私立総合体育大会は光暗高 各種目に 好成績 建高跳 中川光市

山田、中川、宋広、中田各選手は それぞれ韓上の部において傷勝し いて行われ、本板からも出場した 配丸投 走高路 中田和夫 (中学の部) 宏遊 一米四〇 C米三七 一米五五

高 島岩 英弁に三位

一です。言指で知るのではなくて一あるのはやはり洛星であるの膝強 島岩は第三位となった。一、二位 は女性であり、男性ではトツブで の三府県 (京都・渋賀・三章) 英 語弁論大会に本校からも高島、北 われたアメリカ交化センター主催 去る十日午後、平安女学院で行 うではないか。 (SU生) てる人は同時 人間へと廻い カトリ

映画評に関して H B高畠

つていると思われる雑誌「カトリ

つてはこまるのである。

00000

## 圖 館 だ よ 9

図書館内ではどの様な本本能ん

又同期間に読書環境調査のアン

ケー

卜卷各本

紙を図書館入口に置きますので入 日までの一週間、この為の調査用 典、名詞等を掛いて退館する時に 館内で読んだ本、または調べた事 願いします。 レヤ下さい。 と思いますので皆さんの協力をお 書館の運営や購入の参考にしたい これらの調査によつて今後の図

愉しく 生きよう

の中で乗り合わ せた本校の生徒 この間、電車 ツク生活」のAから下までの映画 の区分に少々不満である。

そうである。満足してもいいのに ずれにしてもたいした不測はなさ もなととを云つた人もあるが、い それはそれでかまわない。しかし い。人間にはいろんな苦しみ悩み ら、もつと愉快がつたらどうか」 たくさんあつて云えない。」とい こんな損はないだろう。とにかく そのためには生きている一瞬一瞬 無駄な苦しみはしてもらいたくな があるのにどうして输しんでばか 踏君、もつともつと愉しく生きよ からの愉快ではないだろうか。そ る時にも愉しくなければらそだ。 は心からのものでなければならな るだけなのだから。愉快というの りいられるかという人がいたら、 見を待つてにがにがしく生活をし を振民にすごすことだ。それが心 い。家でも学校でも道を歩いてい い。結局それはその人の不療にな なことはないだろう。その神に帰 ることになるのだから、こんな得 してそれは同時に自分自身来鍛え 一不満がつてても仕方がないか 学校の映画の許可書の基準となっち。とにかく「居泗陸」と太陽族 に自分自身を下らぬ あるかと聞いてみ ツクの やつているのだから 人々にこう云いた 一式つたのは一人も に思われる。 「あるけどあまり このような生徒が 久 を及ぼすような映画は作品として でもいらべきものの深い追求がな そのものを描いてこそ、人間性と う罪深い人間、世界、あるいは罪 り、罪はあつても罪人はいないの 世界、人間を描いた作品にすぐれ も価値無いものが多い)又そうい ものを持つている。〈逆に駆影響 すどころか、返つて現々に数える 如何に罪深い筋帯であり、如何に な結婚をしなかつたり、夫以外の されるのであり、従つてそういう すぐれた作品では悪い影響を及ぼ **羿深い世界を取扱つていようと、** 表面的な筋とその取扱つている世 職く人生を生き抜こうと努力して である。扉を犯してはいるものの の為に負けて表面化したものであ 彼等が悪いというよりも彼等のも 又皆なを扱つてやりたいような気 くむ前にかわいそうだと思うし、 を見るとそこに出てくる人々をに 面的にはFであろう。しかし映画 の類の罪が次々となされるし、表 男に恋をしたり、野落したり、そ いに不満である。たしかに、正式 ると「居酒屋」が下であるのは大 題映画や活動で人間の<br />
姿を描く<br />
と たものが多いのは当然である。漫 界を見て区分するようであるが、 映画と一緒(共に下)にしてもら さえ見える。あの映画をみて自分 いるジュルヴェーズの姿は立派に **特になる。罪を犯してもあの罪は** とは出来ないのである。例を上げ 思者はよもやあるまい。世の頻達 つ弱さ、人間の持つ弱さが苦しみ ことから自分遣の生活の子供への 影響の反省の良い機会となるだろ がナナのような子供を生むという が見た場合などは、ああいう環境 もあんな生活をしてみたいなどと あの区分で見ると、その映画の

編 集 後 記

らわたしますので答を書いて提出 ームルームの先生か ▼本月号は、生征会委員へ選挙の をお願いすると共に、新聞局員 つものことながら原稿の不足に て下さることをお願いします。 にたくさんの生徳諸智が参加し は弱つております。多くの投稿 結果を中心に編集しました。い